

先進的都市再生施策の社会実験都市

公共交通の復権 富山市

東京大学大学院 都市工学専攻教授 西村幸夫

中心市街地の再生へ

富山市は2007年2月、新たに改正された中心市街地活性化法のもとで国が支援する中心市街地活性化基本計画の第一号として青森市とともに認定された。これによって都心の空き店舗ビルの改修費用や共同住宅の整備費等に助成金が見込まれるほか、まちづくり交付金の使途の柔軟性が増すといった支援措置が受けられるようになった。

富山市はまちづくり三法改正の流れに乗ったのである。もちろん、そのためには準工業地域への大型商業施設の進出に制限をかけるなどそれなりの覚悟が必要だったが、都心再生への市の姿勢は変わらなかった。たとえば、市内中心部へ転入した住民への家賃補助制度（賃貸は月額最高1万円を最長3年間、購入の場合は最高50万円を補助）を2005年度に導入しているほか、都心の総曲輪南地区における公共広場の造成や空き地を利用した屋台村の整備、さらに全庁的な公共交通機関の整備などを進めるといった計画である。

公共交通機関の再生

中心市街地の再生のためには都心部へ各種の都市施策を集中させるだけでは当然のことながら不十分である。都心部と

郊外部とを結ぶ動脈の整備が欠かせない。これを従来のように自動車交通に頼っていたら、またまた駐車場や道路網の整備、郊外ショッピングセンターとの競合など従来型の都市整備の繰り返しになる。

こうした蟻地獄のようなジレンマを抜け出すためには公共交通機関を補強することが重要だということは再三言われてきた。しかし、大都市ならまだしも、地方都市で公共交通機関を増強することが経営的に成立するとはなかなか考えにくいというのがこれまでの日本の実情だった。

この壁を富山市は自らの実績をもって打ち破りつつある。従来、富山県は通勤・通学する人のうち自動車に依存する割合が72%（2000年度国勢調査）と山形県に次いで日本で2番目にマイカー依存の強い県であるが、ここで新しい公共交通機関の導入が実現したのである。

富山駅と北前船でにぎわった港町である岩瀬との間の7.6kmを結ぶ富山ライトレール、愛称ポトラムがそれである。開通は2006年4月29日。これは日本であらんと58年ぶりの全線新設の路面電車であるだけでなく、7編成の車両すべてがお洒落なデザインの超低床車両であるという点で日本初の本格的なLRT（ライト・レール・トランジット）といえるものなのだ。かつてはJRの富山港線が運行されて

長野駅と金沢駅が開業し、東京と富山の間が2時間へと短縮されるのだ。

新幹線開業に合わせて路線の連続立体化事業が計画されている。当然のことながら新しい富山駅舎の建設も課題である。同時にまちの顔である駅前広場や駅周辺の市街地の景観整備も大きなテーマとなっている。

特筆すべきことに、新しく整備される高架の富山駅は地上部分をLRTが北の岩瀬方面から貫通し、南の中心市街地を走る富山地方鉄道の路面電車網と結ばれることになる。さらにこの路面電車を環状に延伸する計画も準備が進められている。JR富山駅の真下にLRTの富山駅が設置されるという日本初の構造を持つことになるこの駅は、公共交通による都市再生の一大モデルとして今後大きな話題を呼ぶことになるだろう。

これによって富山は21世紀を生き延びるための持続可能な都市のインフラを整備することになる。どのような都市が21世紀の末に生き生きとした魅力ある都市として機能しているか、答えは明白ではないだろうか。長年続いた富山市の都心部の人口減少にもすでに歯止めがかかりつつあるという。



西村 幸夫 にしむら ゆきお

東京大学工学部都市工学科卒業 同大学院修了 明治大学助手 アジア工科大学助教授 MIT客員研究員 コロンビア大学客員研究員などを終り現職 専門は、都市計画、都市保全計画、市民のまちづくり論など 世界文化遺産の評価等を行う世界遺産記念協会（ICOMOS）前副会長 文化審議会専門委員 東京都景観審議会部会長 「たかはし町並み建築デザイン賞」審査委員長など 著書「都市保全計画」「町並みまちづくり物語」など多数



市の中心部では併用軌道の新設 洗練された都市空間が生まれている



世界でもトップクラスと評価された7色の斬新な車体デザイン



整備された大手モールの彩るパブリックアート



松川彫刻公園「ワイシャツの女」田中 昭の作品



昔ながらの路面電車が健在の中心市街地 建設中の集合住宅



少しずつ活気を取り戻してきた総曲輪商店街



運行本数を倍増 はじまったJR高山本線活性化社会実験



歴史的なまちなみを回遊 越中 八尾まちめぐりバス



風の盆で一躍人気を集めている 越中 八尾のまちなみ



都心を流れる松川の春 城下町らしい舟遊びが復活



江戸期 北前船で栄えた街 岩瀬浜も賑わいが増した



南の終点 富山駅北 ベビーカーでの乗り降りもラクになり好評



北の終点 岩瀬浜 超低床の電車で合わせ 同レベルでフィーダーバスにスムーズに乗り換えられる バリアフリー設計